

ISSN 1343-7550

研究会報告

第 36 号

国際連語論学会

連語論研究 <Ⅲ>

日本語文法研究会 発行

まえがき	鈴木康之 i
目次.....	ii
[講演]	
連語論研究のあゆみ	鈴木康之 1
[日本語研究]	
「にくむ」「うらむ」における〈心理的なかわり〉への移行.....	鈴木泰 21
複合連体格の名詞をカザリとする連語再考—連用格の名詞・単純連体格の名詞をカザリとする連語との関係を通して	彭 広陸 29
文文化の視点からみた終助詞の承接—「よね」「かね」などを例に.....	譚 静 45
無対他動詞の結果達成性について	汪 然 58
「空間的な位置変化のむすびつき」の判断基準に関する一考察.....	佐々木俊雄 74
連語による動詞への働きかけについての一考察—各連語の隣接性を視野に入れて—	神野智久 89
中国人学生のための日本語作文指導研究—受身文の調査から—	宮本正 100
[中国語研究]	
汉语的“主宾互易”现象.....	王 慶 111
存在文における“着”、“了”の交代現象に関する一考察.....	洪 安瀾 122
中国語の所有物受身文と持ち主受身文の再考	劉 爾瑟 136
中国語の“把”構文における“把”の「客体」について—“把”の「客体」の“有定”“无定”について—	小路口ゆみ 148
[日中対照研究]	
言語類型論から見る日中両言語の語順について	高橋弥守彦 159
日中対照研究から見る因果表現としての「タメ(二)」用法について—「タメ(二)」文と“因为”文“由于”文の対応関係を中心に—	劉 会禎 172
日中対訳から見るタラ条件文の実証的研究.....	鄒 善軍・李 光赫 182
編集後記	195
英文目次	196
執筆者紹介	197